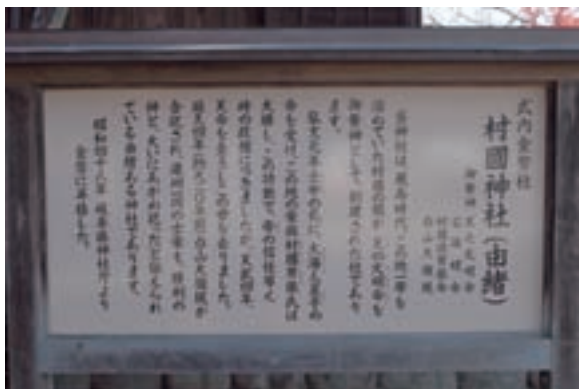


7. 歴史・文化の方針

中山道、木曽川及び航空機産業の歴史・文化は、本市の都市形成過程において重要な要素である。今後もこれらの歴史・文化を継承していくため、以下の方針を示す。

【中山道(歴史街道)】

中山道鵜沼宿及び苧ヶ瀬池並びに村国座をつなぐ中山道、おがせ街道等の道路沿道を本市の主要な歴史資源・地区を結ぶ『各務野歴史街道』と位置付け、その整備を進めるほか、皆楽座、村国座等の主要な歴史資産の有効活用により交流人口の増加を図る。



▲村国座(由来の看板) 平成 21 年撮影



▲村国座(子供歌舞伎)



▲村国座 平成 21 年撮影



▲村国座と村国神社 平成 21 年撮影



▲苧ヶ瀬池 平成 21 年撮影



▲皆楽座 平成 21 年撮影



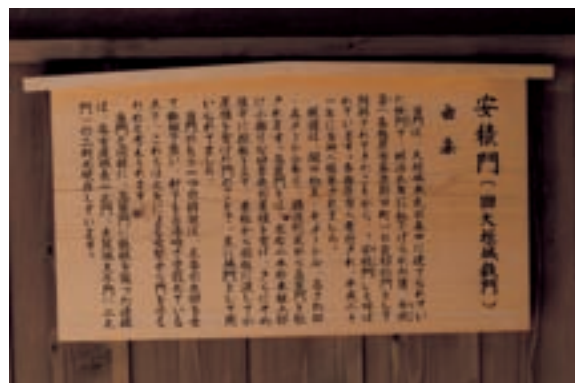
▲中山道鶴沼宿(町屋館) 平成 21 年撮影



▲中山道鶴沼宿(旧大垣城鉄門) 平成 21 年撮影



▲中山道鶴沼宿(鶴沼西町交流会館完成イメージ)



▲旧大垣城鉄門由来の看板 平成 21 年撮影

【木曽川】

雄大な自然景観と周辺の歴史景観により、多彩な表情を見せてくれる木曽川の洪水の跡地で歴史遺産である河跡湖、また水害対策として玉石積み（ごんぼ積み）を家屋の基礎として建物を建てているごんぼ積み集落については、豊かな自然及び個性ある景観が残されており、今後は、重点風景地区に指定した上で、まちづくりを進める。



▲ごんぼ積み集落 平成 21 年撮影



▲河跡湖公園 平成 21 年撮影



▲かわしま燦々夏まつり 平成 18 年撮影

【航空機産業】

1917年（大正6年）に陸軍演習場が設けられた各務原台地に『各務原飛行場』が設置されたことにより、1937年（昭和12年）に川崎航空機岐阜工場が立地し、併せて、工場従業者用の社宅も多く整備された。これは、本市の都市化の源であり、今日も航空機産業は本市の基幹産業である。この歴史と文化を紹介する航空宇宙科学博物館の周辺地区については、岐阜県グリーンスタジアム等の集客施設と連携を図りながら、航空宇宙文化にふさわしい魅力を有した施設誘致等、地域資源を活かし、より多くの人を引き付ける魅力を有した地区として、市街化調整区域の性格を変えない範囲で、土地利用の誘導を検討する。



（平成 21 年 2 月 24 日付 岐阜新聞）

川崎航空機岐阜工場周辺(昭和 36 年頃)



明治時代に陸軍演習場が設けられた各務原台地に1917年（大正6年）各務原飛行場が設置され、1937年（昭和12年）に川崎航空機岐阜工場が立地し、併せて、工場従業者用の社宅も多く整備された。これは、本市の都市化の源であり、その後の発展の礎となっている。